

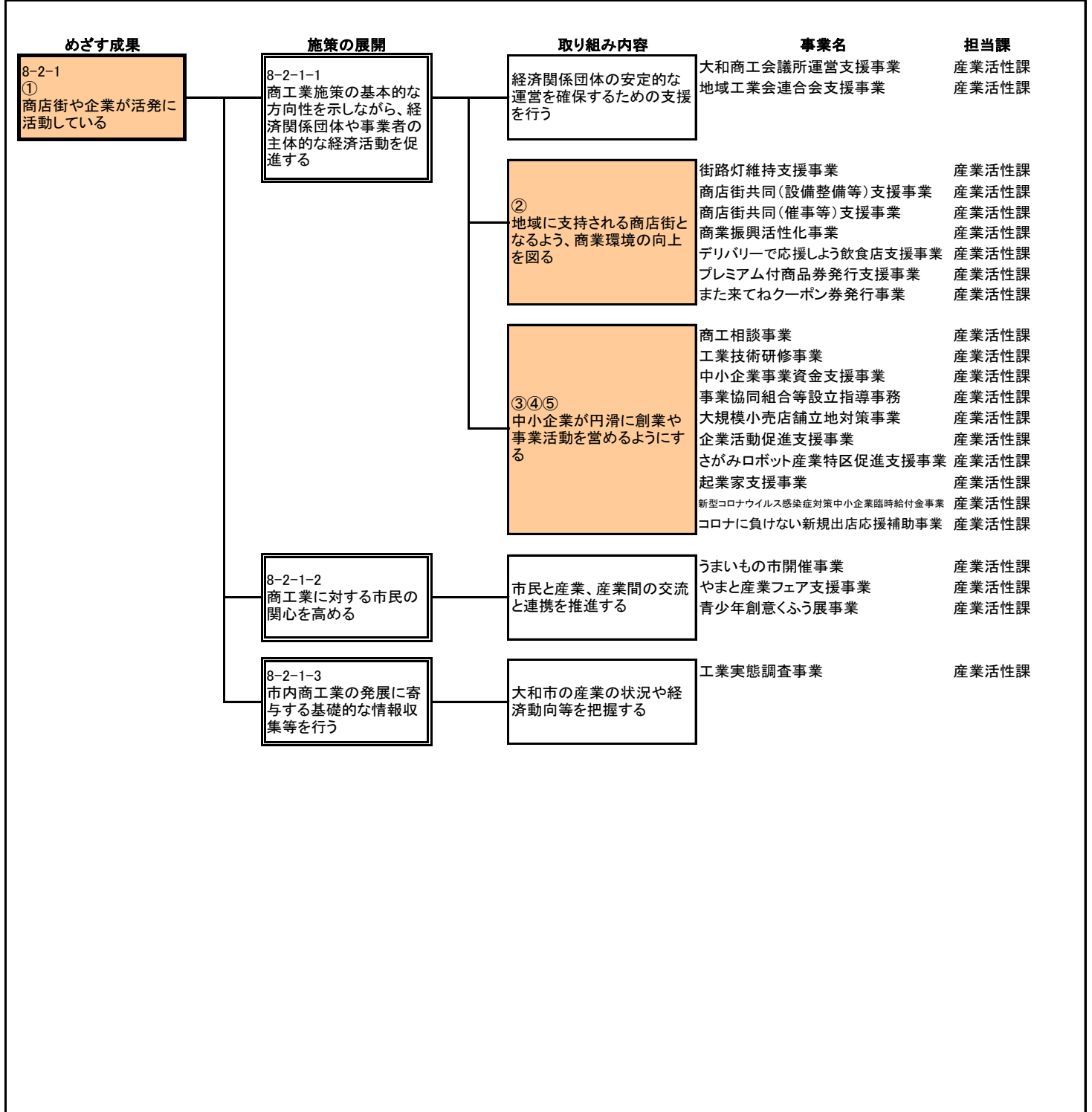
施策評価（一次評価）

個別目標 8-2

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	8	市民の活力があふれるまち
個別目標	8-2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
めざす成果	8-2-1 商店街や企業が活発に活動している	
	8-2-2 市内で働く人が増え、生き生きと働いている	
	8-2-3 都市農業が営まれ、地域農産物が安定的に消費されている	
	8-2-4 多くの人が「大和」を訪れ、まちの魅力も高まっている	

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



(単位：千円)

◎所管部長：市民経済部長 佐藤 則夫

総事業費 (予算)	H31(R1) 1,243,409	R2 1,290,482	R3 1,287,431	R4 1,422,005
--------------	----------------------	-----------------	-----------------	-----------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間（R1～R5年度）					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 大和市は、買い物がいや すいと思う市民の割合	66.5%			75.5%	69.0%	70.0%
② 市内事業者が商店会等 に加入している場合	68.0%	60.8%	56.4%	66.8%	68.0%	68.0%
③ 市内事業所数	7,479事業所			6,874事業所	7,550事業所	7,620事業所
④ 法人設立数	273件	287件	260件	238件	300件	330件
⑤ 起業家支援スペースの 稼働率	100%	100%	100%	100%	100%	100%

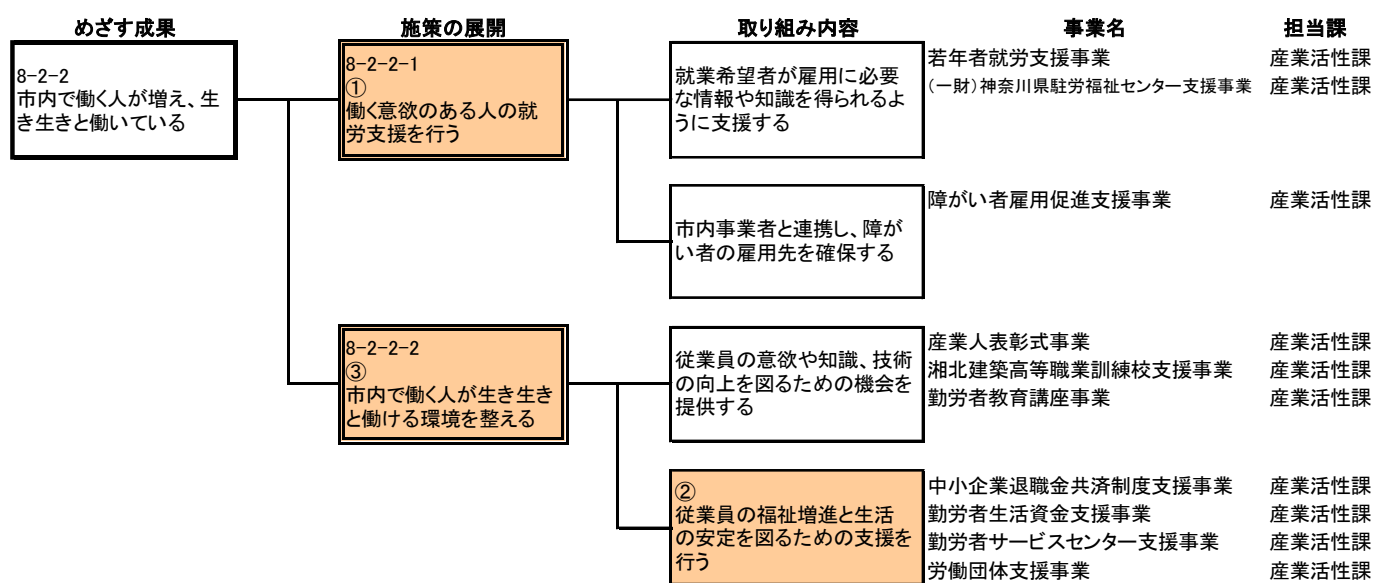
これまでの成果	<p>【商工業施策の基本的な方向性を示しながら、経済関係団体や事業者の主体的な経済活動を促進する】</p> <p>■市内で事業を営む中小企業者等を対象とした中小企業融資制度の融資実行額は令和2年度1,127,800千円、令和3年度3,012,400千円（前年度比267.1%）。また、その融資を実行された中小企業者等に対する金銭的補助である利子補給額は令和2年度30,808千円、令和3年度30,073千円（前年度比97.6%）、信用保証料補助額は令和2年度13,887千円、令和3年度27,399千円（前年度比197.3%）となりました。コロナ禍への対応として、令和2年度から緊急支援資金（セーフティネット4号の認定を受けた者）の利子補給及び信用保証料補助上限額を拡充したこともあり、利子補給額と信用保証補助額を合わせた交付額は増加傾向となっています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、財務状況悪化が想定される多数の市内中小企業者等に対して、経営基盤安定のための有効な支援策として機能しています。</p> <p>■市内法人設立数は令和元年287件、令和2年260件、令和3年238件と減少傾向であり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けていることが考えられます。しかしながら、展示会出展料補助金支給件数は令和2年度は2件に対し、令和3年度は7件と増加傾向にあり、市内中小企業者等は販路拡大や販売促進施策を展開する機運は高まってきていると考えています。あわせて、事業拡大に取り組む市内企業や本市に進出を希望する企業等に奨励金を交付する企業活動振興奨励金の認定件数は令和元年度5件、令和2年度6件、令和3年度5件とコロナ禍においてもほぼ横ばいを維持しており、企業活動促進支援事業は市内経済の活性化に寄与していると考えます。なお、令和3年7月に条例改正を行い奨励金のさらなる充実を図りました。また、令和3年度には新型コロナウイルスで一定額の売上が減少した市内中小企業者等に対して、市独自の臨時給付金事業を1220件給付しました。これらにより市内中小企業者等への経済的支援を行い、市内経済の活性化に努めることができました。</p> <p>■市内での起業を促進するため、大和市創業支援等事業計画の充実を図ると共に、未創業の方、若しくは創業間もない方に対して起業家支援スペースの提供、各種創業セミナーの実施、起業家支援スペース利用者向けに市内での開業に伴う家賃補助等の支援を行いました。起業家支援スペース（5区画）の稼働率は100%を維持しており、起業家支援スペースを利用後に起業した実績もあることから、市内での起業促進策として機能しています。</p> <p>■市内商工業の振興・発展を図るために大和商工会議所に対して補助金を交付しました。</p>
---------	--

成果に対する評価と課題	<p>【商工業施策の基本的な方向性を示しながら、経済関係団体や事業者の主体的な経済活動を促進する・市内商工業の発展に寄与する基礎的な情報収集等を行う】</p> <p>■令和2年度の緊急支援資金（セーフティネット4号の認定を受けた者）の利子補給及び信用保証料補助上限額拡充等の施策を展開したことにより、中小企業融資制度の融資実行額、利子補助及び信用保証料補助額が増加し、コロナ禍において財務状況悪化が想定される多くの市内中小企業者等の経営基盤の安定に寄与することで「商店街や企業が活発に活動している」の実現に向けて一定の成果を挙げることができたものと考えています。しかしながら、アフターコロナにおける市内事業者等の今後の事業展開に対する設備投資等は十分ではないことが想定されるため、今後2カ年においても引続き経済的支援が必要だと考えられます。新たな施策として中小企業事業資金に係り、令和4年4月から令和5年2月中に信用保証料補助申請を行った市内中小企業者等に対し、補助を拡充する施策の展開を行い、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により経営基盤が不安定な市内中小企業者等への支援を継続し、「商店街や企業が活発に活動している」の実現を図っていきます。</p> <p>■展示会出展料補助については、コロナ禍以降、オンライン展示会も補助対象としたこと、令和3年7月からの企業活動振興奨励金を拡充したこと、令和3年に市独自の新型コロナウイルス感染症対策中小企業臨時給付金事業を実施したこと等、時代にニーズを的確に捉え、変化に対応すべく施策を展開してきたことから「商店街や企業が活発に活動している」の実現に向けた施策を実施できたものと考えています。しかしながら、今後もアフターコロナに向けて、また、その後も経済状況に注視して必要な施策を適宜検討、展開していく必要があります。隔年で実施している工業実態調査や関係機関等が公表しているデータ等を活用し、時代のニーズを的確に把握することに努め、スピード感のある施策立案を意識して実施することで「商店街や企業が活発に活動している」の実現に寄与できると考えています。</p> <p>■令和3年度に公募した令和4年度からの起業家支援スペースの申請は15件あり、市内での起業を考えている方は増加していることが考えられます。このことは「商店街や企業が活発に活動している」の実現の一助となったものと考えています。課題として起業を目指す方のニーズの把握が十分でないと考え、今後は各種起業家支援事業においてニーズの把握に努め、施策立案を行い、市内での起業の促進を図ります。また、令和4年度はコロナに負けない新規出店応援補助事業を行う等、起業家支援の充実を図ります。</p> <p>■市内中小企業の経営環境は厳しい状態が続いており、市内商工業の経済発展のため、大和商工会議所と密に連絡を取り合い迅速な商工行政の施行が求められています。</p>
-------------	---

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	8	市民の活力があふれるまち
個別目標	8-2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
めざす成果	8-2-1	商店街や企業が活発に活動している
	8-2-2	市内で働く人が増え、生き生きと働いている
	8-2-3	都市農業が営まれ、地域農産物が安定的に消費されている
	8-2-4	多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



(単位：千円)

◎所管部長：市民経済部長 佐藤 則夫

総事業費 (予算)	H31(R1) 394,102	R2 202,708	R3 186,076	R4 184,229
--------------	--------------------	---------------	---------------	---------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間 (R1～R5年度)					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 市内事業所従業者数	76,799人			77,497人	77,500人	78,300人
② 勤労者サービスセンターの加入者数	3,351人	3,194人	3,097人	2,949人	3,380人	3,420人
③ 健康経営による産業表彰数(累計)	1事業者	2事業者	3事業者	7事業者	3事業者	4事業者

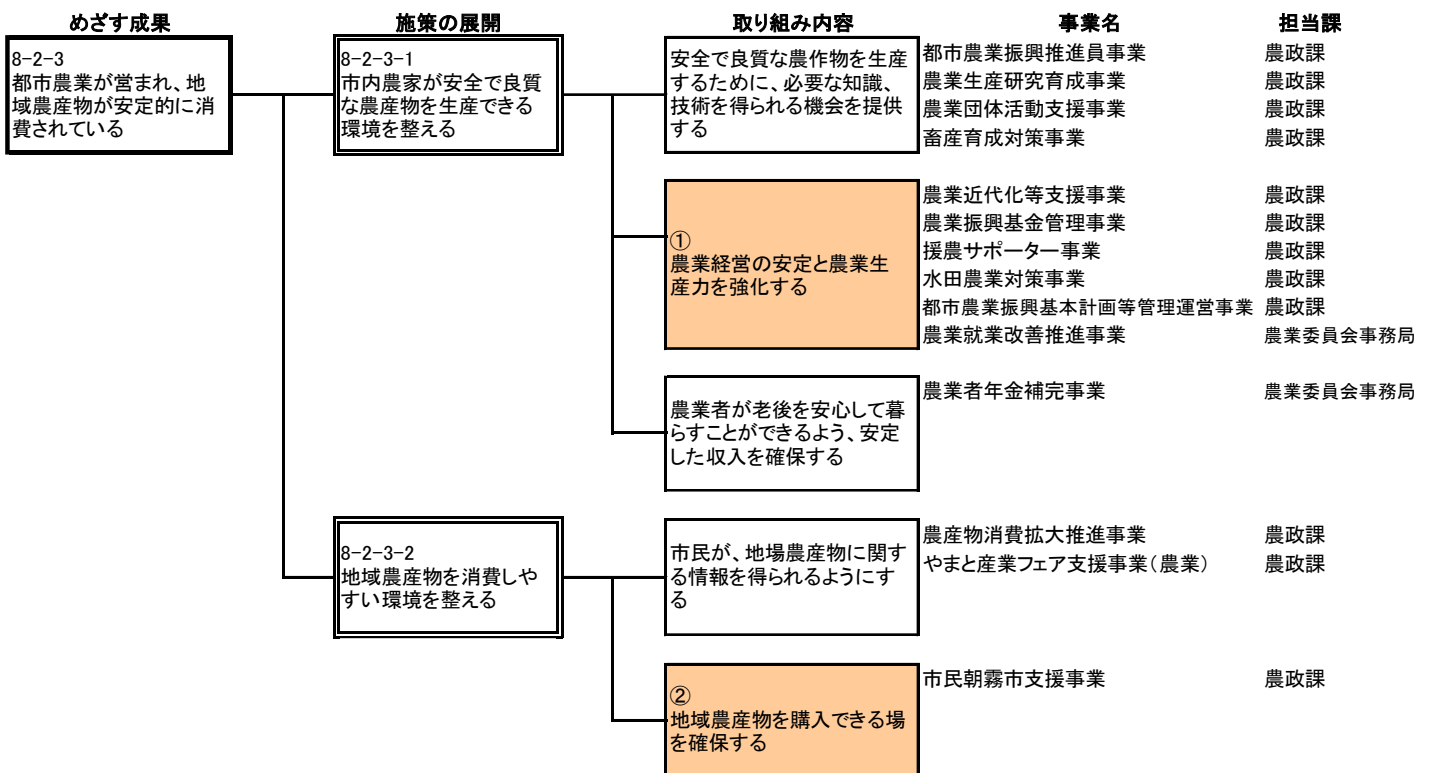
これまでの成果	<p>【働く意欲のある人の就労支援を行う】</p> <p>■若年未就労者等に対して、社会的・経済的自立を促進するためにキャリアカウンセリングや体験型セミナー、ハローワークと連携したセミナー等を開催しました。キャリアカウンセリングは令和元年から令和3年まで毎年18日間実施しました。なお、各事業参加対象者において年齢制限を設けずに実施しました。</p> <p>■障がい者の雇用促進を図るため、障がい者を雇用する市内事業者に対して障がい者雇用促進補助金を支給しました。交付実績は令和元年度45人、令和2年度33人、令和3年29人(令和元年度比64%減)と新型コロナの感染拡大の影響を受けて減少傾向にあります。</p> <p>【市内で働く人が生き生きと働ける環境を整える】</p> <p>■市内に立地する工場及び小売店舗、市内商工業者及び従業員に対して、市内中小企業の発展と勤労意欲や技術の向上を図るため、産業人表彰を行いました。特に健康経営による産業表彰数は令和元年度及び2年度は1事業者だったものに対して、令和3年度は4事業者の受賞があり、既に最終目標値を達成しました。</p> <p>■中小企業で働く勤労者の福利厚生の上昇と生活の安定を図るため、健康診査事業やレクリエーション事業等を実施する大和市勤労者サービスセンターに対して運営費の一部を補助しました。勤労者サービスセンターの加入者数は令和元年3,194人、令和2年度3,097人、令和3年度2,949人(前年度比4.8%減)と微減傾向となっています。本補助金が勤労者サービスセンターの事業内容の充実に活用され、加入者の福利厚生と生活の安定に寄与しました。</p>

成果に対する評価と課題	<p>【働く意欲のある人の就労支援を行う】</p> <p>■キャリアカウンセリングや体験型セミナー、ハローワークと連携したセミナー等を定期的開催することによって「市内で働く人が増え、生き生きと働いている」の一助となれたと考えています。キャリアカウンセリングについて、若年者(おおむね40歳くらいまで)の参加数が課題となっているため、若年者に対する広報アプローチを再検討する必要があります。また、各事業において、若年者に限らず相談可能であることの周知を図り、就労意欲のあるあらゆる世代への支援を行っていきます。</p> <p>■障がい者雇用促進補助金の支給額は年度によって増減がありますが、本補助金の活用によって新型コロナの影響が続く中でも障がい者雇用数維持の一助となったと考えています。今後も市内の障がい者雇用促進及び障がい者雇用率増加のため、周知を図ります。</p> <p>【市内で働く人が生き生きと働ける環境を整える】</p> <p>■健康経営による産業表彰数増加は「市内で働く人が増え、生き生きと働いている」に大きく寄与していると考えています。今後も市内中小企業の発展と勤労意欲や技術の向上を図るため、永年勤続者や優秀技能者等、市の産業に貢献された方、法人等に対して表彰を行います。</p> <p>■大和市勤労者サービスセンターに対して補助金を交付することで、新型コロナの影響による加入者数減少の抑制に寄与しました。このことは「市内で働く人が増え、生き生きと働いている」の一助となったと考えています。アフターコロナにおいて、中小企業で働く勤労者の福利厚生の上昇と生活の安定を図るためにどのような事業等が必要であるか再考する時期だと感じており、大和商工会議所をはじめ、関係機関との連携を図りながら、市内で働く人が生き生きと働ける環境を整えていきます。</p>

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	8	市民の活力があふれるまち
個別目標	8-2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
めざす成果	8-2-1	商店街や企業が活発に活動している
	8-2-2	市内で働く人が増え、生き生きと働いている
	8-2-3	都市農業が生まれ、地域農産物が安定的に消費されている
	8-2-4	多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



◎所管部長：環境施設農政部長 飯塚 隆広

(単位：千円)

総事業費 (予算)	H31(R1) 7,937	R2 8,292	R3 8,207	R4 8,836
--------------	------------------	-------------	-------------	-------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間 (R1～R5年度)					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 援農サポーターの登録者数	40人	39人	30人	42人	42人	45人
② 朝霧市、夕やけ市、おさんぽマートの年間開催回数	152回	153回	145回	155回	150回	150回

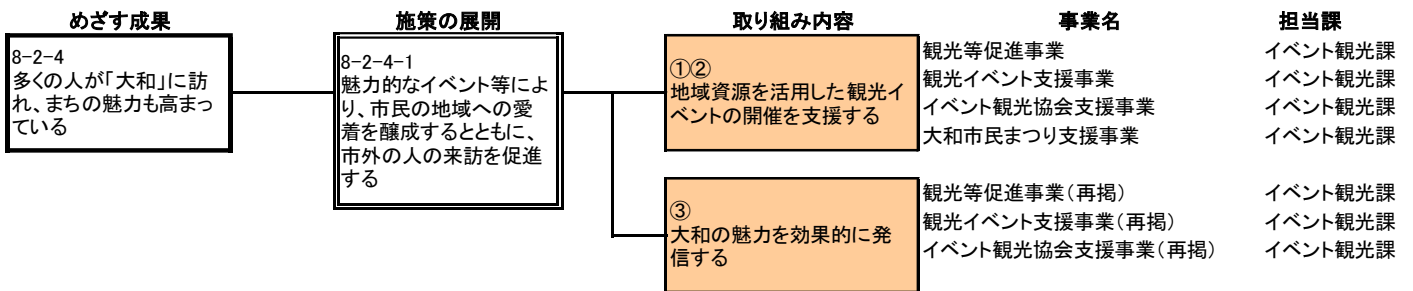
これまでの成果	<p>【市内農家が安全で良質な農産物を生産できる環境を整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■援農サポーターの充実を図るため、広報やまとで募集を行い、登録者数が42名となりました。 ■防鳥ネットの設置やコインロッカー型の無人共同直売所の設置に対し補助を行い、都市農業に適した農業の近代化を推進することができました。 <p>【地域農産物を消費しやすい環境を整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市が支援を行っている朝霧市や夕やけ市等は、毎年150回前後を開催し、新鮮な農産物を買求める人と農家をつなぐことができ、地産地消が図られました。 ■市内小学生を対象に実施する親子農業見学会や料理教室は新型コロナの感染拡大防止のため中止となりましたが、米作文コンクールの募集、食育フェアでのPRなどの農産物消費拡大推進事業により市民の都市農業に対する関心と理解を深めてもらうことができました。 ■やまと産業フェア（令和2年度は中止、令和3年度はオンライン開催）では、web版で地場農産物のPRを行いました。
---------	---

成果に対する評価と課題	<p>【市内農家が安全で良質な農産物を生産できる環境を整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■農家の高齢化により農作業支援の需要の増加が見込まれることから、引き続き援農サポーターの発掘・育成・充実に取り組んで行く必要があります。 ■農業近代化支援については、時代に適した都市農業を推進する必要があることから、引き続き、補助対象の見直しを行いながら支援を継続していきます。 <p>【地域農産物を消費しやすい環境を整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市内農家による直売は、朝霧市に加え、共同直売所や庭先での販売も行われていることから、消費者と直結した地産地消の仕組みが整っていると捉えています。 ■朝霧市等については、多くの市民に利用されており、引き続き、現状の支援を継続していきます。 ■やまと産業フェアにおける地元農産物のPRは、安定的な地産地消に寄与しているものと捉えています。 ■地場農産物の消費が安定的に行われるためには、農業の生産環境及び市民が消費しやすい環境、双方を整える必要があります。そのためには、市内農家数が微減していく状況において、直売所などで販売する農家数を維持していく一方、直売所等の充実を図るとともに、学校給食への供給、連携を深めていくことも重要と考えます。
-------------	---

令和4年度施策評価（一次評価）

健康領域	社会の健康	
基本目標	8	市民の活力があふれるまち
個別目標	8-2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
めざす成果	8-2-1	商店街や企業が活発に活動している
	8-2-2	市内で働く人が増え、生き生きと働いている
	8-2-3	都市農業が営まれ、地域農産物が安定的に消費されている
	8-2-4	多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



(単位：千円)

◎所管部長：文化スポーツ部長 大下 等

総事業費 (予算)	H31(R1) 42,918	R2 40,290	R3 37,257	R4 36,329
--------------	-------------------	--------------	--------------	--------------

成果を計る主な指標	前期基本計画期間 (R1～R5年度)					
	計画当初値	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	中間目標値 (R3)	最終目標値 (R5)
① 観光イベント総来場者数	936,400人	1,118,573人	1,778,517人	1,720,111人	1,153,000人	1,160,000人
② 観光施設等の総来場者数	1,014,532人	848,287人	607,946人	727,280人	1,035,000人	1,045,000人
③ フィルムコミッション で対応した撮影件数	53件	28件	49件	41件	62件	62件

これまでの成果	<p>【魅力的なイベント等により、市民の地域への愛着を醸成するとともに、市外の人々の来訪を促進する】</p> <p>■観光等促進事業では、イベントキャラクター「ヤマトン」を活用し、TwitterのツイートやInstagramの投稿などにより市のPR活動を行ってきたほか、「やまとdeのど自慢」と「やまとde紅白歌合戦」の歌謡イベントを開催してきました（ただし、歌謡イベントについては令和2、3年度は新型コロナの影響により開催中止となりました）。</p> <p>■イベント観光協会支援事業では、大和市イベント観光協会に対して補助金を交付し、フィルムコミッション事業や本市をロケ地としたオムニバス映画の制作等の活動を支援してきました。</p> <p>■「大和市民まつり」の開催を、総括事務局として支援してきました（令和2、3年度は開催中止となりましたが、3年度は代替企画として「大和市民まつりオンライン」を実施しました）。</p> <p>■観光イベント支援事業では、市内の規模の大きい4つのイベントの主催者に対して補助金を交付し、運営を支援してきました（ただし新型コロナの影響で、令和2年度は1つのイベントのみ補助を実施し、3年度は全イベントが中止となりました）。</p>

成果に対する評価と課題	<p>【魅力的なイベント等により、市民の地域への愛着を醸成するとともに、市外の人々の来訪を促進する】</p> <p>■コロナ禍によりイベントの開催が難しい状況の中で、大和市民まつりオンラインの開催や「ヤマトン」を活用した市のPR活動により、市民にイベントの雰囲気を感じていただき、市内を少しでも活気付けさせる取り組みができたのではと考えています。今後、感染対策を行いながら、状況に応じた形で大和市民まつりの開催を検討していくほか、本市の地域資源を生かした事業の検討を行っていく必要があります。</p> <p>■フィルムコミッション事業では、撮影の誘致活動の継続に加え、市民エキストラの募集や撮影実績の効果的な発信などにも力を注ぐ必要があり、協会と連携して事業の拡充に努めます。</p> <p>■コロナ禍が続く中でも、地域の団体等が共同で実施する市内の大規模イベントに対する補助金の交付制度は引き続き維持し、運営面を支援していきます。</p>

めざす成果		8-2-1 商店街や企業が活発に活動している							
事務事業名	R1決算額		R2決算額		R3決算額		R4予算額		
	法令等の義務		実施手法		財源構成				
事務事業の目的									
大和商工会議所運営支援事業		69,840	69,840	49,840	50,140				
		無	直営	他・一財					
大和商工会議所への支援を行い、市内の商工業の振興・発展を図ります。									
商業振興活性化事業		8	1,204	161	733				
		無	直営	一財					
商店街の活性化及び販売促進を図ります。									
中小企業事業資金支援事業		1,050,975	1,046,046	1,057,575	1,080,243				
		無	直営	他・一財					
市内で事業を営む中小企業者等の経営基盤の確立を図ります。									
企業活動促進支援事業		45,528	88,241	119,063	161,697				
		無	直営・委託	一財					
販路拡大や販売促進を支援するなど、企業活動の活性化を図ります。									
さがみロボット産業特区促進支援事業		14,684	19,764	4,517	2,194				
		無	直営・委託	一財					
市内ロボット関連企業等への支援を行い、生活支援ロボット関連産業の振興を図ることにより、市内産業をより一層発展させていきます。									
起業家支援事業		222	679	170	3,290				
		無	直営	一財					
起業を促進することにより、市内産業の活性化を図ります。									
うまいもの市開催事業		7,907	0	0	0				
		無	直営	一財					
人々の交流を活発にし、地域の活気と賑わいを高めるとともに本市への集客を図ります。									

めざす成果		8-2-2 市内で働く人が増え、生き生きと働いている							
事務事業名	R1決算額		R2決算額		R3決算額		R4予算額		
	法令等の義務		実施手法		財源構成				
事務事業の目的									
若年者就労支援事業		883	968	990	671				
		無	委託	一財					
若年者の就職活動を支援します。									
障がい者雇用促進支援事業		1,620	1,201	1,041	2,003				
		無	直営	一財					
障がい者の就労の安定と福祉の向上を図ります。									
産業人表彰式事業		268	241	246	462				
		無	直営	一財					
市内中小企業の発展と勤労意欲の向上を図ります。									
勤労者サービスセンター支援事業		14,600	14,600	14,600	14,600				
		無	委託	一財					
中小企業で働く勤労者の福利厚生の上と生活の安定を図ります。									

めざす成果		8-2-3 都市農業が営まれ、地域農産物が安定的に消費されている			
主要な 事務事業 の内容	事務事業名	R1決算額 法令等の義務	R2決算額 実施手法	R3決算額 財源構成	R4予算額
	事務事業の目的				
	農業近代化等支援事業	2,119 無	6,978 直営	2,203 県・一財	2,089
	農業の近代化を進め、農業経営の安定、生産力の向上を図るとともに、環境保全効果の高い営農活動の普及を推進します。				
	農産物消費拡大推進事業	500 無	257 直営・委託	500 一財	500
	地場農産物の消費拡大を推進します。				
	市民朝霧市支援事業	600 無	600 直営	600 一財	600
	新鮮で安全な地場農産物を市民へ提供します。				

めざす成果		8-2-4 多くの人が「大和」に訪れ、まちの魅力も高まっている			
主要な 事務事業 の内容	事務事業名	R1決算額 法令等の義務	R2決算額 実施手法	R3決算額 財源構成	R4予算額
	事務事業の目的				
	観光等促進事業	11,960 無	1,660 直営・委託	1,221 一財	10,483
	本市の地域資源や魅力を効果的に活用・発信し、市外からの来訪と人々の活発な交流を促進します。				
	観光イベント支援事業	0 無	331 直営	0 一財	2,790
	各観光イベントを主催する実行委員会の運営を支援します。				
イベント観光協会支援事業	17,474 無	13,834 直営	12,702 一財	19,116	
本市の観光行政の一翼を担う大和市イベント観光協会の運営を支援します。					

【注釈】	<法令等の義務>	法律または政省令による事業実施根拠の有無
	<実施手法>	直営、委託、指定管理から選択。同一事業内で実施手法が混在するケース有り
	<財源構成>	一財：一般財源 国：国庫補助金等 県：県費補助金等 市：市債 他：その他特定財源

成果を計る主な指標の計算式等及び目標値の設定理由

めざす成果	成果を計る主な指標	計算式等	目標値の設定理由
8-2-1 商店街や企業が活発に活動している	大和市は、買い物しやすいと思う市民の割合	市民意識調査で測定	これまでの市民意識の増加傾向を参考に、目標値は現状維持の中でもわずかに上昇させ、70%の市民が買い物しやすいと感じることを目指し、目標を設定した。
	市内商業者が商店会等に加入している割合	商店街団体の加入事業者数/市内商業者数（小売業+卸売業）×100	高齢化に伴う継承問題や、人材確保の難しさ等、市内事業者を取り巻く状況が厳しいことから、現状を維持していくことを目標とした。
	市内事業所数	市内の事業所数の累計（経済センサス）	2014年と2016年の事業所数を比較するとマイナス371事業所と減少傾向にあるが、既存企業の操業環境の確保や企業誘致、起業家支援に取り組むことなどにより、現状維持の中でもわずかに上昇させることを目標とした。
	法人設立数	市民税課への法人設立届の件数	起業家支援の充実等、新たに法人が設立されるよう取り組む中で、過去の上昇率を参考に目標値を設定した。
	起業家支援スペースの稼働率	入居区画数/全区画数×100	起業家支援策の充実を図るとともに、広報周知に取り組むことにより、年度当初の稼働率を100%とすることを目標とした。
8-2-2 市内で働く人が増え、生き生きと働いている	市内事業所従業員数	市内事業所で働く従業員数の累計（経済センサスより）	2014年と2016年の従業員数を比較するとマイナス5,135人と減少傾向にあるが、既存企業の操業環境の確保や企業誘致、起業家支援に取り組むことなどにより、現状維持の中でもわずかに上昇させることを目標とした。
	勤労者サービスセンターの加入者数	勤労者サービスセンターの加入者数の累計	高齢化に伴う継承問題や、人材確保の難しさ等、市内中小企業者を取り巻く状況が厳しいことから、現状維持の中でもわずかに上昇させることを目標とした。
	健康経営による産業表彰数（累計）	健康経営による産業表彰を受けた企業の件数	事業者に向けて健康経営に対する意識啓発を積極的に行い、1年ごとに1社程度増加することを目標とした。
8-2-3 都市農業が営まれ、地域農産物が安定的に消費されている	援農サポーターの登録者数	援農サポーターの登録者数	新規登録者数と高齢等を理由とした登録解除者数の動向を踏まえ、目標値を設定した。
	朝霧市、夕やけ市、おさんぼマートの年間開催回数	朝霧市、夕やけ市、おさんぼマートの年間開催回数の合計	年間の開催予定日から天候等によって開催できない日を考慮し目標値を設定した。
8-2-4 多くの人が「大和」を訪れ、まちの魅力も高まっている	観光イベントの総来場者数	各イベントの年間来場者数（主催者発表）の合計（1月～12月）	天候の影響を考慮したうえで、過去3年分の平均（2015～2017）の来場者数（113万9千人）から毎年3,500人程度増加することを目指し、目標値を設定した。
	観光施設等の総来場者数	各施設来場者数の合計（1月～12月）	2017年の来場者数から毎年5,000人程度増加することを目指し、目標値を設定した。
	フィルムコミッションで対応した撮影件数	フィルムコミッションによる撮影件数（市及び民間施設を含む）	過去3年度分（2015～2017）の実績を踏まえ、当該期間での最高件数を目指し、目標値を設定した。